



## 東京都隊友会墨田支部等に対する防災講話



東京地本城東地区隊は、平成30年4月1日に、東京都隊友会墨田支部の会員及び墨田区役所の職員約30名に対し、「災害への対応」と題し、防災講話を実施した。

この防災講話は、隊友会墨田支部会員の防災意識の高揚及び会員相互の連携強化を図るとともに、自衛隊との各種情報の共有に努めることを目的として二年前から行っているものである。今年も、城東地区隊長（河北3等陸佐）が「自衛隊の災害派遣の法的根拠」、「過去の災害派遣での自身の体験談」及び「墨田区内の防災設備」について、一般の方にも理解を得られるように写真を多用した内容で紹介した。

時折ユーモアを交えつつ、いざという場合の対応などの助言を要所に入れながらの説明に、参加者は皆、真剣な眼差しで聞き入っていた。

講話終了後、参加者は「自衛隊の災害派遣での活動などは今まで何度か聴講したことがあったが、墨田区内の防災設備の話は初めてであり、万が一、震災等が生じた際は、本日の講話を参考とし、人命救助等にあたりたい。」との感想を述べていた。

城東地区隊は、今後も様々な機会を活用し、区民の防災意識の高揚を図るとともに自衛隊の活動を積極的に伝えていくとしている。

## 舎人公園千本桜まつりでの市街地広報



東京地本足立地域事務所は4月7日（土）・8日（日）の2日間、足立区の春の恒例イベントである「舎人公園千本桜まつり」において、第1普通科連隊の支援を受けて自衛官の募集広報活動を実施した。

当該イベントが行われる舎人公園は、都内における震災対処時には増援部隊の活動拠点となる等の重要な地域であるが、城東地区隊は東京地本が所管する四コ地区隊の中で唯一、自衛隊の駐屯地が存在しないため、少しでも多くの方々に自衛隊の存在意義を周知して防衛基盤の拡充を図り、自衛官募集に繋げるために企画したものである。

両日とも天候に恵まれた会場には足立区民のみならず、都内及び近傍の各県から延約20万人が来場し、自衛隊のブースにも多数の方が足を止め、展示された高機動車や偵察用バイク及び災害派遣の写真展示に見入っていた。

特に、広報ブースと併せて、開設した「ちびっこ着せ替えコーナー」では、小さな子供達などが迷彩服を着て、偵察バイクの体験乗車や記念撮影ができるとあって、家族連れなどで行列となり、自衛隊に対する感心の高さをうかがうことが出来た。

写真を撮った親御さんからは「今日はとても良い記念になりました。ありがとうございます。」との感謝の言葉と併せて、「自衛隊さん、これからも頑張ってください。」との励ましの言葉や学生等の情報を得ることができ、参加した広報官や隊員は更に広報活動への士気を高めていた。

東京地本足立地域事務所では今後も地域に密着した募集・広報活動を実施するとともに、関係部隊等とも連携を密にして、防衛省・自衛隊の活動に対する足立区民等の理解と関心を高め、自衛官募集活動の業務に繋げてゆくとしている。